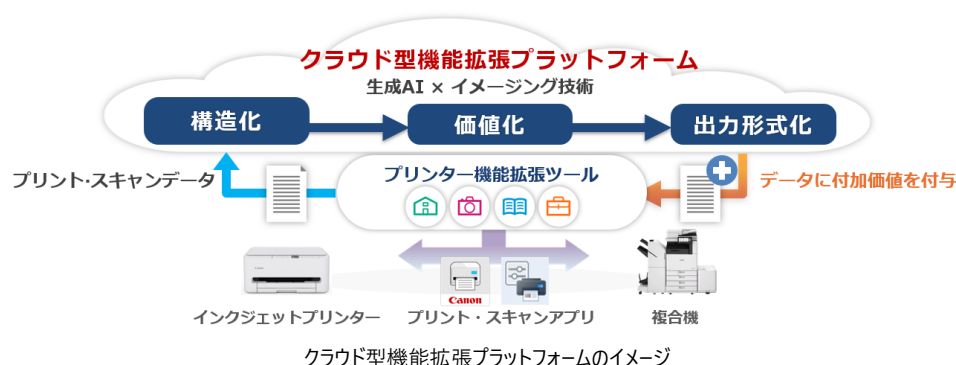


プリンティング製品向け「クラウド型機能拡張プラットフォーム」を始動 生成 AI とイメージング技術で目的や用途に応じたプリント・スキャン体験を提供

キヤノンは、生成 AI^{※1}とイメージング技術を活用した「クラウド型機能拡張プラットフォーム」を構築し、プリンティング製品を進化させる機能拡張ツールの提供・拡充を開始します。本取り組みの第一弾として、家庭用インクジェットプリンター「PIXUS（ピクサス）」シリーズ^{※2}向けに、既に使用されている対象製品にも対応する、新たな機能拡張ツール^{※3}を2026 年 10 月 1 日より提供します。



近年、プリントニーズの多様化に伴い、印刷だけでなく編集やレイアウト作成などのさまざまな機能が求められるようになっていきます。しかし、ユーザーは利用したい機能ごとに専用アプリを個別にインストールしなければならないため、求める印刷物を作成し、完成させるまでに手間がかかるという課題がありました。このたびキヤノンは、家庭向けプリンターからオフィス向け複合機まで、幅広いプリンティング製品を対象とした「クラウド型機能拡張プラットフォーム」を構築しました。本プラットフォームでは、生成 AI とイメージング技術を活用し、ドキュメントや画像の内容を解析します。その上で、必要な情報を抽出し、目的に応じて整理・再構成することで、プリント・スキャンフローに活用できるデータへ変換します。これらの機能は、PC・スマートフォン向けアプリを通じて機能拡張ツールとして提供され、ユーザーは必要な機能を選択して利用できます。

■ PC・スマートフォン向けアプリで機能を拡張できる新しいプリント・スキャン環境

PC 向けに、米国 Microsoft 社の最新の印刷プラットフォームに対応したアプリ「Canon Print Assistant Ver.2.0」を、スマートフォン向けにモバイルアプリ「Canon PRINT Ver.4.0」をリリースします。今後、新しいプリント・スキャン機能は、機能拡張ツールを通じて両アプリ上で提供されます。ユーザーは目的に合わせて必要な機能を選択・追加することが可能なため、機能ごとに専用アプリをインストールすることなく、通常の印刷ワークフローの中で利用することができます。

■ 生成 AI とキヤノンのイメージング技術を活用した新しいプリント・スキャン機能

新たな機能拡張ツールの第一弾として、「PIXUS」シリーズ向けに「Web レイアウト印刷」を提供します。印刷機会の多いレシピサイト・ニュースサイトの印刷時に、生成 AI がウェブサイト内の情報を解析することで広告や余白などの不要な要素を除外し、再レイアウトして印刷することができます。今後も、スキャンしたデータを生成 AI が解析し、ファイル名を自動で生成する「自動ファイル名生成」^{※4}をはじめ、仕事や学習、趣味や暮らしなど、さまざまな用途に応じた機能を継続的に提供します。ユーザーが使用中のプリンティング製品に新たな機能を追加することで、プリント・スキャン体験の向上を目指します。

※1 学習済みの生成 AI を使用しており、自己学習機能は有しておりません。

※2 2023 年 10 月以降発売の「PIXUS」シリーズ XK510/XK140/XK130/TS8930/TS8830/TS7630/TS6730/TS6630/TS5630/TS5530/TS3730 が対象です。詳細はキヤノン公式ウェブサイトをご確認ください。

※3 本ツールは無償です。ただし、利用には Windows 向け印刷アプリ「Canon Print Assistant」（無償）またはモバイルアプリ「Canon PRINT」（無償）のダウンロードが必要です。併せて、キヤノン純正インクカートリッジの使用およびプリンター連携サービス「MyPrint With」（無償）への登録が必要です。詳細はキヤノン公式ウェブサイトをご覧ください。

※4 PC 版は 26 年 11 月下旬、モバイル版は 27 年提供予定。